

災害時に威力発揮 ネットク解消、雨天時に屋外でも使用OK 「ポータブル蓄電池」

防水機能持つバッグ開発

医療救急用バッグをフルオーダーで企画製作している丹波市柏原町柏原の会社「マルスバッグ」が、ポータブル蓄電池を収納し、雨天時でも屋外で稼働できるよう工夫を凝らした防水バッグをつくった。自然災害が頻発している今日、家庭用のコンセントが備わり、どこにでも持ち運びができるポータブル蓄電池は災害時の備えとして注目されているが、防水機能のあるポータブル蓄電池はほぼなく、普及のネックになっていた。そのネックを、バッグでポータブル蓄電池を包み込むという発想で解消した。

丹波篠山の企業から依頼受け

マルスバッグの代表、細川善さんは一昨年、ウツロア市場での需要も見込めるが、防水機能がないのが大きな難点だった。相談を受けた細川さんは、ポータブル蓄電池を発売している丹波篠山市の畑休燃料株式会社と出会い、「ポータブル蓄電池は防水機能を付加できないか」といっ相談を受けた。細川さんによれば、パソコンやスマートフォンなどに使われているリチウムイオン電池を搭載したポータブル蓄電池は持ち運びが可能で、家電製品のプラグが挿し込めるコンセントが備わっている。家の中にしかなかったコンセントが、屋外に持ち出せる時代になった。災害時の電源として、家に一台あってほしいと思いつくと細川さん。マルスバッグの代表、細川善さんは一昨年、ウツロア市場での需要も見込めるが、防水機能がないのが大きな難点だった。相談を受けた細川さんは、ポータブル蓄電池を発売している丹波篠山市の畑休燃料株式会社と出会い、「ポータブル蓄電池は防水機能を付加できないか」といっ相談を受けた。細川さんによれば、パソコンやスマートフォンなどに使われているリチウムイオン電池を搭載したポータブル蓄電池は持ち運びが可能で、家電製品のプラグが挿し込めるコンセントが備わっている。家の中にしかなかったコンセントが、屋外に持ち出せる時代になった。災害時の電源として、家に一台あってほしいと思いつくと細川さん。



バッグの側面にあるファスナーを開くことで「ひさし」部分が取り出せる。「ひさし」をつくることで、バッグに収納したポータブル蓄電池の使用が雨天時の屋外でも可能になった。



マルスバッグの細川さん（右）と畑休燃料の畑さん。1年間かけて試作を重ねた末に専用のバッグをつくり上げた＝丹波市柏原町柏原

マルスバッグが開発したポータブル蓄電池専用防水バッグ。防水性の高い生地を使っている



ポータブル蓄電池の側面についているファン（右）とコンセント



災害時などに使える電源として注目されているポータブル蓄電池

Maru Su Bags

マルスバッグ

丹波市柏原町柏原34 田中ビル2 F
TEL/FAX : 0795-86-8212
Mail : otr0360@gmail.com
ホームページ : <https://www.marusubags.deci.jp/>
フェイスブック、インスタグラムも「MaruSuBags」で公開中

受賞歴

- 令和元年度丹波すくれもの大賞受賞(兵庫県丹波県民局主催)
- 令和2年度ひょうごNo.1ものづくり大賞技術部門賞(知事賞)受賞(兵庫県産業労働部産業振興局主催)
- ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2021優秀賞受賞(兵庫県産業労働部産業振興局主催)

